

★ まちづくり ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

230号



2020年11月28日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869



— 都心低空飛行問題について —

○ 品川区住民投票条例請求署名 法定署名数の3倍集まる！

住民投票条例の直接請求署名運動は第一関門を突破しました。

航空機が都心上空を低空飛行する羽田新ルートへの賛否を問う住民投票条例制定に向けた直接請求署名2万3098人分が9日、東京都品川区に提出されました。直接請求に必要な有権者数(9月1日現在で約6800人)の3倍以上でした。この数を品川区議会の議員(多数派は自民・公明)がどう受け止めるかが次の関門です。

アメリカ大統領選挙に膨大な放送時間を割いても、日本の民主主義を問われている住民運動について、マスコミはなぜ触れないのでしょうか。

○ 議員連盟発足



松原仁議員をはじめとする超党派の羽田問題を考える議員連盟が12月3日に発足します。

○ 「いたばしの空を守る会」では

11月21日(土)15時~16時。「いたばしの空を守る会」10名程の人達がときわ台駅前で署名運動やピラマキをしました。いつもの低空飛行を共有したかったのですが、あいにく?北風だったようで、常盤台上空を飛ぶ姿は見られませんでした。これは稀なことで、統計的にも南風運行が圧倒的に多いのです。

家の真上を飛ぶので騒音が不快だと訴えていた西台の人や、署名用紙を家に持ち帰ってくださる前野町の人もありました。

次回は12月19日(土)15時~

○ 音楽ホールを図書館跡地に！

図書館跡地について地元住民との話し合いは新型コロナウイルスの影響なのか、まだ実現していません。

このまま区側の勝手な方針で、あの常盤台の大事な場所に、単なる事務所が建てられて良いのでしょうか。

板橋区内に殆ど無い小規模な音楽ホールを希望して署名運動を行ったので、今回「区長への手紙」(用紙は大抵の公共施設にはあります)を出してみました。

第一種低層地域なので音楽ホールの名目では建築が難しいということなら、多目的ホールでも集会所でも名称は工夫次第だと思うし、他の施設との抱き合わせでも良いのです。ただ、駐輪場はごめんです。やっとな不法駐輪場を撤去させた場所なのですから。

常盤台に文化的に優れたまちづくりができませんように！後世に禍根を残さぬように！

○ 公園の花壇を継続しませんか？

現中央図書館解体後、前の花壇の植栽の移動により、その後の花壇(今より位置は低くなるそうです)の継続について、皆様のご意見を伺いたいと思います。

花壇を新しく作りたいという方は是非お知らせ下さい。既にTさん・Kさんが申し出て下さいましたが、今までの花づくりの会とは別なメンバーが花壇の面倒を見て下さることを歓迎します。花づくりの会のメンバーもお手伝い位は出来るかも知れません。マンション住まいの方などお子さんと一緒に花壇を楽しむ機会にいかがでしょうか。残念ですが菜園にはできませんが、子供の時から土や植物に親しむことはとても良いことだと思います。

生け垣もみんなの財産

板橋区にはブロック塀を生け垣に換える際には、上限はありますが、費用の半額程度を補助する制度があります。

個人の宅地内の樹木が激減している現在、色々な意味で生け垣の推進・保全は大事です。

しかし、ブロック塀やコンクリート塀の方が安価で後々の手入れが楽、と言う理由で生け垣は次第に敬遠されていったようです。

新規の生け垣造成だけでなく、大規模に手入れが必要な場合も助成が適用されるようになれば、少しは違うのではないのでしょうか。

厄介視されている生け垣の毎年の手入れにも、少しでも助成があると保全の後押しとなるのではないのでしょうか。

冬は小鳥の受難期

木枯らしが吹く頃、姿が目立ってくるのがメジロやシジュウカラです。可愛い声と姿で木々の間を飛び回っていますが、彼らとしては日々、必死で餌を探しているのです。

野鳥の会などは禁止しているかもしれないかもしれませんが、ついミカンを半分に切っけたりしてしまいます。争いながら突っついている姿を見るのも楽しみです。メジロは番いだけなく、四羽の団体で行動しているのも見ました。兄弟でしょうか。鳥たちは一体どこに巣を作っているのか知りたいものです。

二丁目には鳥のための餌台を置いている家があり、スズメやメジロ以外に野生化したインコなども混じって賑やかでした。

レジ袋の代わりは？

海に流れ着くプラスチックのゴミを再生してまたゴミ袋にする技術ができてくるようですが、プラごみの3Rも進んでいるようですが、とりあえず家庭の生ゴミを出す際は、DMの包装などあらゆる物の袋を活用してはどうでしょうか。ただ捨てるのは勿体ない。たとえゴミ袋としてであっても、最後まで有効に使ってやりましょう。

常盤台と加賀の景観写真の展示

十二月二十五日まで板橋区役所の一階ロビーの柱を使って展示されています。見たような家並みや塀が見られて興味深いです。

都市景観を重視することはこれからの日本の姿勢として重要なことです。いつまでもゴミゴミした街並みや蜘蛛の巣のような電線まみれが良いはずがありません。

景観重点地区として現在はこの二地区が指定されています。しかし、更に指定地区を増やすのか、内容を充実させるのかは不明です。

常盤台住民としては区と協力して良い景観を維持していきたいと誰もが思っているでしょう。が、高い相続税や固定資産税など、維持することは大変です。人生の変化で施設に入らねばならなかったり、事情によって土地を分割せねばならなかったりすることもあり、不本意ながら現状を維持出来ない場合が多いのです。常盤台が良好な住環境を保っている陰では住民それぞれ知られざる苦労があるのです。

こういう問題を解決しなければ、良好な住宅地は常盤台に限らず消滅してしまおうでしょう。

常盤台公園のはなづくり

十一月十三日、今年も区から花苗が届きました。

植え付け前の地ならし(枯れた前の花や根の除去)という厄介な仕事も、Tさん・Sさん・Tさんの三人が済ませて下さいました。

今回はチューリップを植えたあとにピオラを全部植え付けました。なかなか綺麗だったのですが、翌日、Tさんの話では野良ネコがほじくり返して幾つか球根が放り出されていたとか。

そこで野良ネコのトイレにされないよう、Tさんがピオラの上に一面に籠を伏せてしまったので、可愛い花が見えなくなりました。ちよつと残念。

植え付けにご夫婦で駆けつけて下さったり、前から手伝ってくださる方達、合計五、六人で植えたので、一時間半で済みました。そのあと大事な水やりが残りしましたがTさんが引き受けてくれました。

その後、晴天続きで初冬の良い気候の日々で気持ちよかったです。少しは雨が降ってくれないと、植物には可哀想なのです。やきもきしているうちに、やっと十日も後に降ってくれました。チューリップは意外に水をほしがります。

Wさんからもチューリップの球根の寄付があったので、今年は間隔を詰めて植えることができました。春を楽しみに！

